

令和8年度第1回水戸市総合教育研究所運営委員会

日 時 令和8年7月28日(火)
午後3時00分から
場 所 総合教育研究所 水戸の教育研究室

次 第

1 開 会

2 所長あいさつ

3 議 事

(1) 令和8年度総合教育研究所運営方針及び事業について

(2) その他

4 閉 会

令和8年度 要 覧



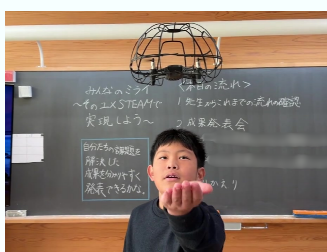
English Activities Program



水戸市総合教育研究所 外観



SPOT in MITO



STEAM教育



SNSによるいじめ防止に関する講演会

《設立の趣旨》

学校教育は、人間尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた幼児・児童生徒の育成を目指し、心身ともに健全な国民の育成を期して行わなければならない。そのためには、学校教育に対する時代や社会の要請と生涯学習の理念に立った今日的な課題を的確に把握しながら、学校教育の活性化を実現する必要がある。

水戸市総合教育研究所は、その機能を十分に発揮して、本市教育の抱える今日的課題及び教育実践上の諸問題の調査・研究、教職員の研修、教育情報の収集・提供、教育相談、各学校（園）の課題や要請に対応した的確な助言・指導等を総合的・効果的に推進し、本市学校教育の一層の充実と振興を図ることをねらいとしている。

《運営方針》

総合教育研究所の運営に当たっては、水戸市教育施策大綱に基づく水戸市教育行政方針や総合教育研究所運営委員会の意見を基にして、さらに学識経験者から多面的な視点に立った助言を得ながら、本市教育の抱える今日的課題を的確に把握し、学校教育の充実を図るため、調査研究、教職員の研修、教育情報の収集・提供、教育相談、各学校（園）の課題や要請に対応した的確な助言・指導等を総合的、効果的に推進する。

水戸市総合教育研究所

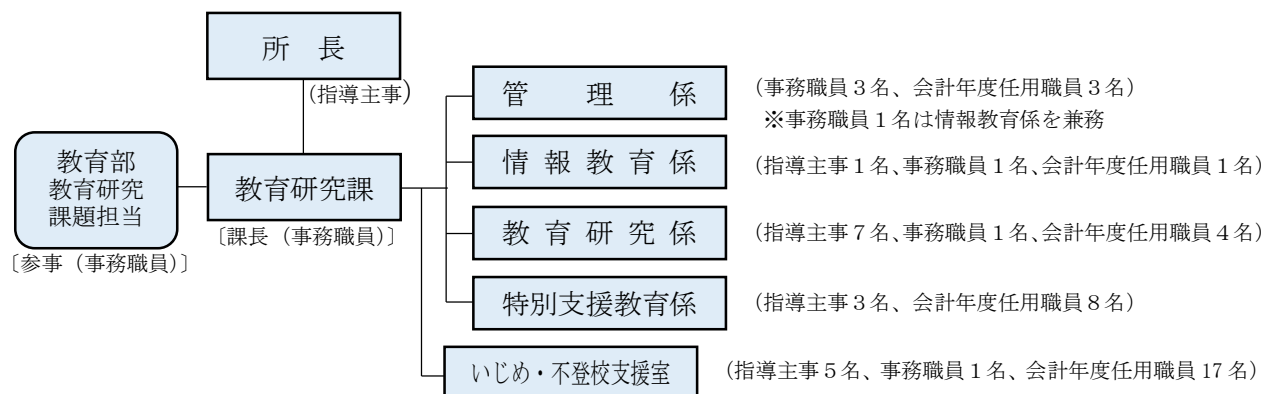


Mito City
Educational
Research
Center

《沿革》

S27. 11. 1	水戸市教育委員会発足、指導室設置
S53. 4. 1	水戸市教育研究所開設
S55. 4. 1	水戸市教育研究所に教育相談室開設
H 1. 3. 28	(仮称) 水戸市総合教育研究所建設用地取得
H 2. 4. 1	水戸市教育研究所に適応指導教室「うめの香ひろば」開設
H 4. 9. 17	(仮称) 水戸市総合教育研究所建設工事着工
H 6. 4. 1	指導室と教育研究所が一体化、水戸市総合教育研究所開設
H19. 4. 1	組織機構の見直しにより「管理係」を「放課後児童対策係」に、「指導係」を「学校教育指導係」に改称
H21. 4. 1	組織機構の見直しにより「教育相談係」を「支援相談係」に改称
H22. 4. 1	組織機構の見直しにより「放課後児童対策係」を「放課後児童係」に改称
H23. 3. 14	3月11日に発生した東日本大震災で被災し使用できなくなった旧市役所庁舎から、教育企画課、学校教育課、学校施設課及び生涯学習課が総合教育研究所内に移転
H23. 12. 20	文化課(現 歴史文化財課)及びスポーツ課が総合教育研究所内に移転
H27. 4. 1	スポーツ課を市長部局市民協働部へ移管するとともに、ケーズデンキスタジアム水戸に移転
H30. 12. 25	新市役所庁舎の完成に伴い、教育企画課、学校管理課、学校保健給食課、学校施設課、生涯学習課、歴史文化財課が総合教育研究所内から当該庁舎に移転
H31. 4. 1	組織機構の見直しにより放課後児童課を総合教育研究所内に設置するとともに、総合教育研究所の「放課後児童係」を「管理係」に改称
R 2. 4. 1	総合教育研究所内に笠原小学校通級指導教室(プラムルーム)を設置
R 3. 4. 1	組織機構の見直しにより「管理係」、「学校教育指導係」、「研究研修係」及び「支援相談係」に「情報教育係」を加えた5係で構成される教育研究課を新設
R 5. 4. 1	総合教育研究所内に笠原中学校通級指導教室(プラムルーム)を設置
R 6. 4. 1	「適応指導教室」の名称を改め、総合教育研究所内に「教育支援センター(教育相談室・うめの香ひろば)」を設置
R 7. 3. 31	笠原小学校通級指導教室を廃止し、笠原中学校通級指導教室(プラムルーム)にて指導
R 8. 3. 31	笠原中学校通級指導教室(プラムルーム)を廃止
R 8. 4. 1	組織機構の見直しにより「学校教育指導係」を廃止し、「いじめ・不登校支援室及び支援係」を設置するとともに、「研究研修係」を「教育研究係」に、「支援相談係」を「特別支援教育係」に改編

《令和8年度組織図》



所属職員数 58 名 (指導主事 17 名／事務職員 8 名／会計年度任用職員 33 名)

《令和8年度事業内容》

水戸スタイルの教育に関する事業

水戸市教育施策大綱に掲げる基本理念「水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成」のもと、一人一人の確かな学びと夢の実現に向け、4つのプランを柱とした本市独自の教育を推進する。

「チャレンジプラン」確かな学びと学習意欲を高める教育	
確かな学力の定着	・市内共通実践項目「規律と協働を高める八策」の推進 ・全校への学力向上サポーターの配置 ・教育ダッシュボードによる教育データの統合的な可視化及びデータに基づくきめ細かな学習指導・支援
自ら学ぼうとする意欲の育成	・冬休みにおける中学生への数学の学習支援「SPOT in MITO」の実施 ・大学との連携事業「つながる学び みと☆Future College」の実施 ▪ 茨城大学（STEAM教育※の推進） ▪ 常磐大学（SDGsへの理解） ▪ 筑波大学（健やかな体の育み） ▪ 茨城大学教職大学院（学ぶ意欲の向上）
「グローバルプラン」世界で活躍できる資質を磨く教育	
英会話力の向上	・全校へのAET（英語指導助手）の配置 ・AETとのティーム・ティーチングによる授業、英会話活動 ・夏休み等におけるAETとの英会話活動・英語学習プログラムの実施（English Activities Program、ハイブリット英会話 with AET、E-Challenge Mito） ・市独自の英語学習教材の活用
情報を活用できる能力の育成	・1人1台端末、大型提示装置等を効果的に活用した学習活動 ・総合的な学習の時間「水戸まごころタイム」、各教科等における情報モラル・セキュリティに関する学習活動 ・「水戸まごころタイム」等におけるSTEAM教育の実践
次世代リーダーの育成	・高等学校等と連携した「次世代エキスパート育成事業」の実施 ▪ ミニ・スーパーサイエンス（県立水戸第二高等学校） ▪ ICTエキスパート（県立情報テクノロジー大学校） ▪ ます math 数楽 NEXT（県立水戸第一高等学校） ▪ わくわく農場探検隊～農マスターになる～（県立水戸農業高等学校） ▪ プロジェクトX～社長になる！～（県立水戸商業高等学校） ▪ 水戸市と文京区のつながりを探る～文京区巡り 東京大学へ行こう～（文京区、東京大学） ・「防災リーダー育成事業」（陸前高田市とオンラインで結んだ意見交換、本市での避難所設営等の防災訓練）の実施
「キャリアプラン」郷土を愛し、豊かな感性を磨く教育	
郷土を愛する心を育てる教育の充実	・社会科副読本の活用 ・日本遺産の現地見学、出前授業の実施 ・偕楽園梅まつり、弘道館・三の丸歴史ロード、水戸黄門漫遊マラソンでのおもてなしボランティア活動の実施
世界に誇る水戸芸術館等と連携した芸術教育の充実	・水戸芸術館等と連携した演劇、音楽鑑賞会等の実施 ▪ 小学生のための演劇鑑賞会 ▪ “こころの劇場”劇団四季ミュージカル水戸公演 ▪ こども芸術の祭典 ▪ 子どものための音楽会 ▪ 中学生のための音楽鑑賞会 ▪ 学校訪問アートプログラム
体験学習の充実	・水戸商工会議所と連携した職場体験学習の実施 ・生徒主体で企画した2泊3日の「自然体験教室」の実施
「ふれあいプラン」いのちや人権を大切にする教育	
いじめの未然防止	・地域団体、PTA等と連携したあいさつ運動の実施（毎月1回以上） ・児童会・生徒会によるいじめ解決フォーラムの実施 ・問題解決意識向上のためのワークショップの実施 ・SNSによるいじめ防止に関する講演会の開催

※STEAM教育…各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育
 （Science:科学 Technology:技術 Engineering:工学 Arts:芸術文化、生活、経済、法律、政治、倫理等 Mathematics:数学）

いじめの早期発見 ・早期対応	・スクールカウンセラー、心の教室相談員によるカウンセリング体制の充実 ・総合教育研究所内への「いじめ・青少年相談ダイヤル」の設置 ・1人1台端末を活用した「校内オンライン相談窓口」の設置 ・教育ダッシュボード「こころの健康観察」による児童生徒の心の状態の把握及び支援 ・いじめ実態調査の実施（年6回以上） ・いじめ・不登校支援室による学校への支援 ・警察・児童相談所等の関係機関との連携
学校における 人権教育の充実	・人権擁護委員による「いじめをなくそう人権教室」の実施 ・「水戸市の学校における人権教育」の活用

研究に関する事業

本市の学校（園）教育における今日的課題及び教育実践上の諸問題の中から研究課題を設定し、教育の充実・伸展を図るための調査研究を進めるとともに、その成果を各学校（園）の教育活動の資料として提供する。また、市教育会研究事業部との連携を図り、教育成果のさらなる向上に努める。

研究指定校における研究	・保幼小連携・接続に関する研究 ・水戸まごころタイムに関する研究
調査研究事業	・STEAM教育等の教科横断的な学習の推進に関する研修
市教育会との連携	・教育会各研究部に対する助成 ・教育研究の奨励 ・教育研究発表大会の共催
大学等との連携	・学校における学生の教育支援及び教育体験 ・茨城大学と連携した教職員の研修及び教育研究 ・大学との連携事業「つながる学び みと☆Future College」

研修に関する事業

中核市として、本市の実情に対応した教職員相互の主体的・実践的な研修を設けるなど、本市の教職員を対象に市独自の研修を実施し、水戸スタイルの教育の充実を図る。また、保護者を対象に、学校教育への理解を深めていただくための研修会を開催する。

法定研修		・新規採用教員〔初任者・2年次・3年次〕研修 ・中堅教諭等〔前期（6年次）・後期（12年次）〕資質向上研修
基本研修		・GIGAスクール研修 ・研究主任研修 ・学校安全対策研修
専門研修	学校課題研修	・小中一貫教育連絡協議会 ・特別支援教育研修 ・人権教育セミナー ・進路指導事務講習会 ・STEAM教育研修 ・学校運営協議会制度研修 ・外国語指導法研修 ・不登校対策研修 ・Kickstart Program研修 ・進路指導主事研修 ・水戸教学セミナー ・コミュニケーション能力スキルアップ研修
	職務研修	・校務支援システム講習会 ・特別支援教育支援員研修会 ・学力向上サポーター研修 ・日本語指導員研修 ・部活動指導員配置前研修 ・防災教育研修 ・心の教室相談員研修・事例検討会 ・校内フリースクール支援員研修 ・英語指導助手研修・定期研修等 ・地域クラブ指導員講習会
	事務職員等研修	・事務職員等研修
	希望研修	・ティーム・ティーチング指導法研修 ・学習障害指導・支援研修 ・ミライシード研修
特別研修	講演・総会	・総研セミナー ・消費者教育セミナー（市民生活課との共催） ・一般教養研修（市教育会との共催）
	指導力向上研修	・水戸市ステップアップ研修
	保護者対応研修	・わが子と歩む親の会 ※保護者対象

特別支援教育に関する事業

発達障害等を含む特別な教育的支援が必要な児童生徒が、その障害の状態や発達段階等に応じ、適切な教育が受けられるよう幼児期からの就学相談の充実に努めるとともに、教育環境の整備と指導の充実に図る。

○早期支援体制の充実

- ・幼児期からの就学相談の実施
- ・心理検査の専門性を有する調査員の配置
- ・こども発達支援センターとの連携

○市教育支援委員会の開催

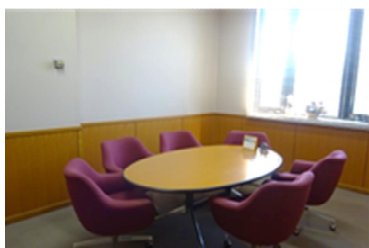
○児童生徒の教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

- ・特別支援教育支援員の配置
- ・特別支援教育専門員による学校訪問、助言・指導の充実

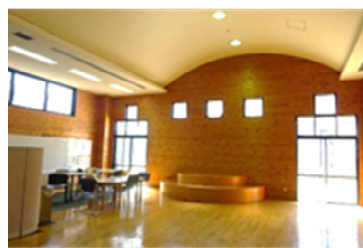
教育相談に関する事業

児童生徒の教育上の諸問題について、教育支援センターにおいて、本人、保護者及び教職員を対象に教育相談を行うとともに、教育相談の在り方についての研究や研修を行い、その成果を教育実践の中で広める。また、各学校との連携を密にし、積極的な協力体制の中で不登校、集団不適合、友人関係等の問題解決に努め、その対応に当たる。

教育支援センターにおける教育相談の実施	来所相談（定期）	不登校、集団不適合、友人関係など教育上の問題解決を図るための面接相談
	電話相談（随時）	不登校、集団不適合、友人関係など教育上の問題解決を図るための面接相談
	「うめの香ひろば」における援助・指導	不登校児童生徒の学校復帰、社会的自立を促すための小集団活動を通しての援助・指導（小学3年生～中学3年生）
	家庭訪問相談	不登校で家庭に引きこもりがちな児童生徒の学校復帰を支援するための家庭訪問による面接相談
	専門医相談	情緒不安、心の悩みなどについて、専門医が本人、保護者、教職員等と面接相談
各学校における相談体制の充実	各学校における相談	スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員による相談、校内オンライン相談窓口、教育ダッシュボードによる「こころの健康観察」
	校内フリースクールの設置	校内に不登校児童生徒が安心して生活できる専用の教室での一人一人の学習計画に応じた支援（令和8年度全中学校及び小学校9校に設置）
教育相談の充実に図るための研究や研修		



相談室



うめの香ひろば 遊戯室

※小学校には義務教育学校前期課程（1年生～6年生）、中学校には義務教育学校後期課程（7年生～9年生）を含みます。

《施設概要》

所在地：〒310-0852

水戸市笠原町 978 番地の 5

電 話：029-244-1331（代表）

F A X：029-244-6708

ホームページ：<http://www.magokoro.ed.jp>

敷地面積：9,892.66 m²

建築面積：1,945.27 m²

延床面積：3,993.42 m²

建物構造：鉄筋コンクリート造地上3階地下1階

〔利用時間〕

○施設、図書・映像資料の利用

月曜日・土曜日 8:30～17:15

火曜日～金曜日 8:30～20:00

○教育相談（来所・電話）の利用

月曜日～金曜日 9:00～20:00

土曜日 9:00～17:00

電話：029-244-6720

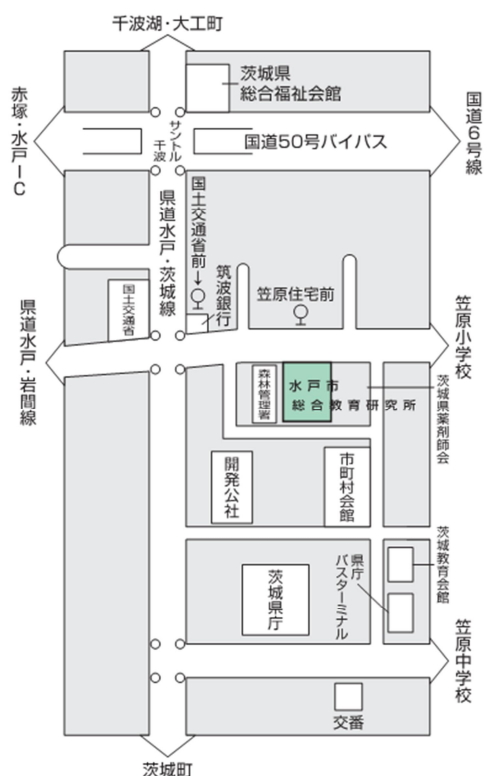
○いじめ・青少年相談の利用

月曜日～金曜日 9:00～17:00

電話：029-244-1347

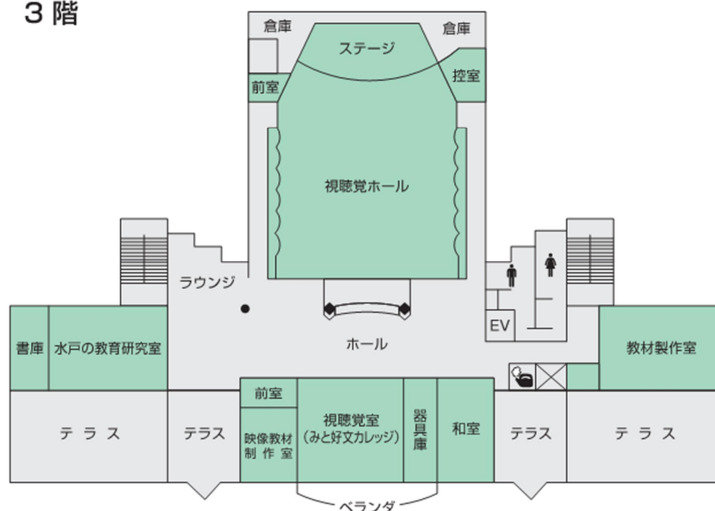
※いずれも祝日、年末年始を除く。

〔案内図〕



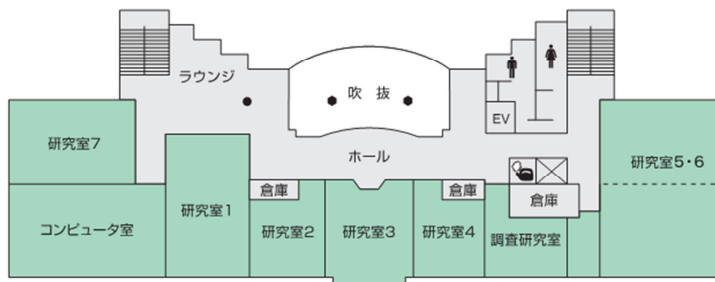
〔施設平面図〕

3 階



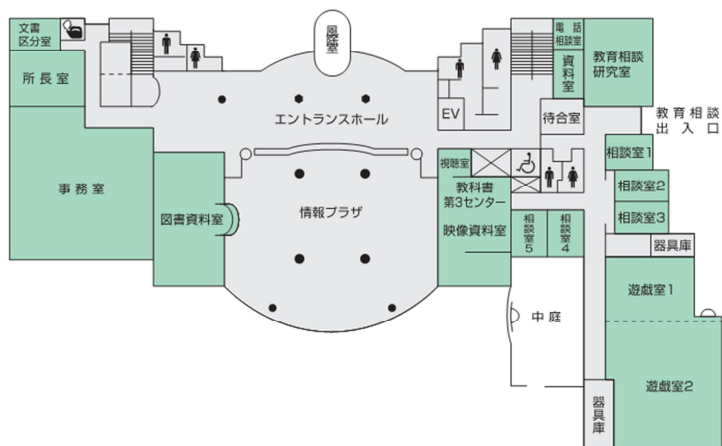
視聴覚ホール、水戸の教育研究室、教材製作室、和室

2 階



研究室1～7、調査研究室、コンピュータ室

1 階



情報プラザ、教科書センター、図書資料室、映像資料室、事務室、所長室、文書区分室、教育相談室（事務室、相談室、遊戯室）

教育目標 知性にとみ、心身ともに健全な風格をそなえた人間（水戸人）の形成につとめる

基本理念 水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成

水戸を愛し、世界で活躍できる人材の育成を図るため、先人の教えである先見性や実践性、国際的な視野を念頭に置き、近世の教育遺産群として日本遺産に認定された弘道館の魁の精神を受け継ぐ文教の府にふさわしい、水戸ならではの魅力ある教育を推進する。

基本的方向1 子どもをしっかりと育てる環境づくりの推進

基本目標1 人間としての基礎を育む家庭づくり

家庭において、親子などの深い情愛をもったふれあいを通して、社会的なマナーを身につけ、豊かな情操等を育てるよう、子どもの健やかな育ちの基盤である家庭の教育力の向上を図ります。

基本目標2 安心で安全な地域づくり

地域住民によるボランティア活動等を通して、地域で子どもを守り育てる体制づくりに努めるとともに、放課後を含めて、安心して過ごせる環境を整備します。

基本目標3 子どもをしっかりと育てる学校づくり

子どもの心身の健やかな成長と発達を支援するため、安全で快適な教育環境の整備に努めるとともに、人間形成の上で重要な幼児期の教育を基盤として、地域の理解と参画を得ながら、より質の高い学校教育を推進します。さらに、中核市としての特色を生かした研修を実施し、教員の指導力や資質の向上を図るとともに、誇りや生きがいをもって子ども一人一人と確実に向き合える環境を整えます。

基本的方向2 一人一人の確かな学びと夢を実現する水戸スタイルの教育の推進

基本目標4 確かな学びと学習意欲を高める教育

子どもの「生きる力」の育成を目指し、確かな学力の定着や自ら学ぼうとする意欲を育成する「チャレンジプラン」を推進し、基本的生活習慣の確立や個に応じた学習指導の充実を図ります。

基本目標5 世界で活躍できる資質を磨く教育

英会話力や情報活用能力の向上を図るとともに、防災リーダーなど次世代リーダーを育成する「グローバルプラン」を推進し、新しい時代を切り拓き、一人一人の夢の実現に向かって世界で活躍できる資質・能力を育成します。

基本目標6 郷土を愛し、豊かな感性を磨く教育

郷土への理解と関心を深める教育や水戸芸術館を活用して豊かな感性を育む教育を充実するとともに、さまざまな体験学習を通して協調性や自律性を育む「キャリアプラン」を推進し、社会に貢献しようとする態度や困難を乗り越える強い精神力を育成します。

基本目標7 いのちや人権を大切にする教育

いじめの未然防止や解決に向けて取り組む「ふれあいプラン」を推進し、いのちや人権を尊重する態度やいじめを許さない気運を醸成するとともに、規範意識や思いやりの心を育成します。

基本的方向3 参画と協働の人づくりの推進

基本目標8 社会に参画する若者づくり

地域と一体となって、若者の健やかな成長を促し、豊かな人間性や社会性を備え、さまざまな地域活動へ積極的に参画し、社会で躍動する自信あふれる若者を育成します。

基本目標9 社会や地域のために自ら活動する人づくり

市民一人一人があらゆる場所、機会において、自ら学び、その成果を地域に生かす環境づくりを進め、変化に対応して新たな価値を創造し、地域社会を牽引する人材を育成します。

基本目標10 歴史を学び未来へ受け継ぐ人づくり

市民との協働により、風格ある歴史まちづくりを進め、郷土への誇りと愛着を深めるとともに、歴史や文化、芸術に親しみ、国際社会で活躍できる人材を育成します。

水戸市長 高橋 靖

教育DXの推進【教育データの利活用】

教育ダッシュボードの活用

1人1台端末の活用により、日々生成される学習活動等で得られるデータ(スタディ・ログ)と学校生活等で得られるデータ(ライフ・ログ)を「教育ダッシュボード」に統合的に可視化し、データに基づくきめ細かな学習指導や一人一人に寄り添った支援等を実施します。

学力向上対策

学習成果物や授業の振り返り等から、個々の課題や授業の理解度を把握し、指導の充実、授業改善を図ります。



不登校支援・いじめ対策

「こころの健康観察」から児童生徒の心の状態を把握し、悩みなどの早期発見につなげます。



「こども芸術の祭典」を開催します!

水戸芸術館での芸術教育を多くの児童生徒に親しんでもらうため、令和8年度から音楽と美術を一体化した「こども芸術の祭典」を開催します。音楽部門ではこれまで同様「中学校合唱の祭典～芸術館で歌おう～」を、美術部門では児童生徒の美術展覧会などを実施します。中学生主体となる祭典とし、市民と協働のまちづくりを将来も実践していこうとする態度を育成します。

新たな自然体験教室が始まります!

行き先や活動内容を生徒自ら決定することで、これまで以上に生徒の主体的な活動を促し、自主性や判断力を育むより教育的意義の高い自然体験教室を令和8年度から実施します。



水戸市教育委員会事務局教育部教育企画課

〒310-8610 水戸市中央1丁目4番1号 TEL029-306-8672

水戸スタイルの教育

水戸スタイルの教育とは
次世代をリードする人材の育成を目指し
確かな学力の定着や、郷土を愛し、
社会に貢献しようとする心の育成を図る取組等を
先進的に進める教育です



弘道館

チャレンジプラン

グローバルプラン

キャリアプラン

ふれあいプラン



偕楽園

水戸藩第9代藩主徳川斉昭は、勉強だけでは大成しないという「一弛一張」(緊張とリラックス)の理念のもと、一弛の場として弘道館を、一弛の場として偕楽園を創設しました。

水戸市教育委員会

チャレンジプラン

【確かな学力の定着】
【自ら学ぼうとする意欲の育成】



学力向上サポーターの活用

小中学校に教員免許を有する非常勤講師を配置し、チームティーチングや習熟度別の少人数指導、個別指導を行います。複数の指導者の視点で児童生徒を見ることで、よりきめ細かな指導を行い、学力の向上を図ります。



大学との連携「つながる学び」と☆Future College」

県内の大学と連携し、児童生徒が大学職員や大学生と交流しながら、質の高い専門的な知識・技能に触れることで、自ら学ぼうとする意欲を育成します。また、教員の授業力及び資質・能力の向上を目指します。



数学の学習相談「SPOT in MITO」

中学生の希望者を対象として、冬休みに市民センターを会場に大学生サポーターや高校生ボランティア等による数学の学習相談を行い、問題解決に取り組む意欲を高め、学力の定着を図ります。

グローバルプラン

【英会話力の向上】
【情報を活用できる能力の育成】
【次世代リーダーの育成】



英語指導助手(AET)の活用

小中学校に英語指導助手(AET)を配置し、実践的な英会話力を育成します。希望者を対象として、AETと英語による体験活動(小学5・6年生)やオンライン又は対面による英会話レッスン(中学生)を実施し、生きた英語力の習得を目指します。



情報を活用できる能力の育成

様々な教育活動において、1人1台端末やICT機器などを効率的に活用し、情報活用能力(情報モラル含む)を育成します。



次世代エキスパートの育成

小学6年生や中学1年生等の希望者を対象として、学校を超えた同世代の仲間が集い、高等学校等と連携し、科学や数学、商業、農業、歴史など、より高いレベルの学習に挑戦しようとする意欲を育成します。

キャリアプラン

【郷土を愛する心を育てる教育の充実】
【水戸芸術館等と連携した芸術教育の充実】
【体験学習の充実】



水戸教学の推進

先人の教えを学び、自己の生き方に生かすため、「水戸教学」を学びます。



水戸ならではの芸術教育

世界に誇る水戸芸術館と連携し、水戸室内管弦楽団による演奏や水戸芸術館専属劇団ACMの演劇鑑賞を行います。また、水戸市民会館において、劇団四季によるミュージカルを鑑賞します。



職場体験の実施

中学生が、地域の協力を得て職場体験などの体験活動を行います。他人との関わりや思いやり、社会のルール等を学ぶことで主体的・創造的に生きていくための資質や能力を育成します。

ふれあいプラン

【いじめの未然防止】
【いじめの早期発見・早期対応】



あいさつ運動

地域・PTAと連携して「あいさつ運動」を毎月実施しています。令和7年度は「あいさつで笑顔の蕾に花が咲く」をスローガンに行いました。



SNSによるいじめ防止に関する講演会

いじめを防止するため、ITジャーナリストからSNSのやりとりについて、生徒や保護者を対象に講演会を実施します。



オンライン相談窓口

児童生徒が1人1台端末を活用し、相談したい教職員にいじめを含めた様々な悩みを相談できるオンライン相談窓口を開設しています。